

令和 8 年大井町議会第 3 回定例会

一般質問書

令和 8 年 9 月

通告順	質 問 事 項	質問者	(分) 時間	頁
1	・投票率向上に向けた取り組みについて ・再犯防止計画の策定について	重田有紀	6 0	1
2	・カスタマーハラスメント対策と職員が安心して働ける環境の確保について ・指定管理者制度の検証と選定手続きの透明性について	笠井裕太	6 0	2
3	・未病いやしの里センター地区の地区計画変更と事業変更が及ぼす住民生活への影響について	大石 舞	6 0	3
4	・コンプライアンス遵守と組織ガバナンスについて	岡田幸二	5 0	4
5	・広域避難所における機能の強化について ・学校プール開放の充実について	和田紀昭	6 0	5
6	・「ひょうたんの町おおい」を活かしたまちづくりについて ・「ともに生きる社会かながわ憲章」の普及啓発について	清水亜樹	5 0	6
7	・中学校教育の方針について ・学校体育館空調の進捗状況について	牧野一仁	6 0	7
8	・教育長に町の学校教育の方針について問う ・町の指定管理者制度について	鈴木武夫	4 5	8

質問者	通告 1 番	通告時間 6 0 分
	6 番 重田 有紀 議員	答弁者 町長・教育長
質問事項		要 旨
1. 投票率向上に向けた取り組みについて	1. 本町の投票率は極めて低い。前回町長選の投票率は 38.75%、平成 26 年から見ると 4 年ごとに 10 ポイントずつ低下している。投票率で全てを見通すことはできないとしても、町民の町政に対する関心度を示す、一つの指標であることは間違いない。12 月の町長選挙を見据え、町民が選挙を自分事として捉え、一票を投じてもらうためにできることは何か伺う。 (1) 短期的な取り組みについて。 ア 音声選挙公報の導入は。 イ 投票用紙記入補助具の導入は。 ウ 代理投票実施時の対応は。 エ 交通弱者、高齢者への投票所へ向かうための対応は。 オ 投票しやすい環境整備に向け、新たな取り組みは。 (2) 長期的な取り組みについて。 ア 学校現場における主権者教育の現状と課題は。 イ 学校教育において、議会や関連各所と連携し主権者教育に取り組む考えは。	
2. 再犯防止計画の策定について	2. 本町は今年度、被害者支援条例を制定した。条例制定時の質疑において示したが、被害者支援と更生保護は両輪であるべきと考える。法務省によれば、都道府県を含む 1,000 以上の自治体が既に計画を策定し、町村においても策定に踏み出す傾向にあることを踏まえ、本町の現状を伺う。 (1) 更生保護の取り組み状況は。 (2) 再犯防止計画の策定は。	

質問者	通告 2 番	通告時間 60 分
	1 番 笠井 裕太 議員	答弁者 町長・教育長
質問事項		要 旨
1. カスタマーハラスメント対策と職員が安心して働ける環境の確保について 2. 指定管理者制度の検証と選定手続きの透明性について		1. 行政機関においても、暴言、威圧的な言動、長時間の拘束、執拗な要求等が課題となっている。対策の一環として庁舎内へのカメラ設置費が補正予算に計上された。令和 8 年 10 月 1 日からカスタマーハラスメント防止措置が義務化されることを踏まえ、職員が安心して職務に従事できる環境を確保するため、以下のとおり伺う。 (1) 実態把握と措置義務化を見据えた対応方針は。 (2) 組織的に対応するため、基本方針、判断基準、相談体制、対応マニュアル及び職員研修の整備状況と、今後の充実に向けた考えは。 (3) 町民等への周知・啓発を行う考えは。 2. 本町では指定管理者制度を導入しているが、施設ごとに選定経過や審査結果の公表内容に差がある。山田総合グラウンドの更新を機に、制度の効果、公平性及び透明性について伺う。 (1) 山田総合グラウンドの指定管理料を含め、指定管理者による管理運営に対する評価は。 (2) 指定管理者の選定に際し、選定委員の氏名や事業者によるプレゼンテーション等を公開する考えは。 (3) 大井町公の施設に係る指定管理者の指定手続き等に関する条例第 5 条に基づく非公募選定について、どのような状況を想定しているのか伺う。

質問者	通告 3 番	通告時間 6 0 分
	4 番 大石 舞 議員	答弁者 町 長
質問事項		要 旨
1. 未病いやしの里センター地区の地区計画変更と事業変更が及ぼす住民生活への影響について		1. 神奈川県は未病について“健康と病気の間を連続的に変化する状態”と定義し、未病改善として「食」「運動」「社会参加」の3つを推進してきた。 本町における未病改善の取り組みは、県の方針と一体に行われている。本町の未病バレー「ビオトピア」は県西地域を「未病の戦略的エリア」としてアピールする核となる拠点として設置された。 さて、2024年10月18日にビオトピア改定基本計画の概要の説明があったが非公開であった。 その間、住民や議会への説明もなかった。 今年度7月22日の議会全員協議会において、ビオトピア地区計画の変更の説明があった。民間の事業であるが、合わせて2024年時に示されなかった事業もあり住民生活への影響が大変懸念されると考える。 そこで以下について伺う。 (1) 町と企業の共同提案により基本計画が変更された経緯は。 (2) 基本計画の変更の概要は。 (3) ヘリポートの目的と運航等の詳細は。 (4) ホテル事業の内容など詳細は。 (5) 改定基本計画における、未病改善の取り組みや県西地域活性化プロジェクトとの整合性は。 (6) 地区計画や基本計画の変更について、住民への周知や説明を重ねる考えは。

質問者	通告４番	通告時間　５０分
	９番　岡田　幸二　議員	答弁者　町　長
質問事項		要　旨
１．コンプライアンス遵守と組織ガバナンスについて		１．１０月よりカスタマーハラスメント対策が義務化される。職員を守る体制整備は急務だが、同時に町組織内部のコンプライアンス遵守も問われなければならない。については現状の把握を含め以下を伺う。 （１）コンプライアンス相談窓口における、直近数年間の件数・内訳と対応状況は。 （２）遵守に向けた平時のチェック体制及び啓発・教育の現状は。 （３）１０月以降のカスタマーハラスメントに対する対策と運用方針は。 （４）庁内において組織ガバナンスを欠くような事案が発生した場合の、再発防止について伺う。 ア　会計年度任用職員を再任用する場合の手続きは。 イ　少額事業の見積依頼における手順は。

質問者	通告 5 番	通告時間 6 0 分
	7 番 和田 紀昭 議員	答弁者 町長・教育長
質問事項		要 旨
1. 広域避難所における機能の強化について		1. 近年の記録的な猛暑下で震災が発生した場合、空調のない体育館は命の危険を伴う環境となる。児童・生徒の熱中症対策のみならず、災害関連死を防ぐための避難所機能の強化という観点から以下のとおり伺う。 (1) 小中学校体育館へのエアコン設置の状況は。 (2) 補助制度を積極的に活用し、町の財政負担を軽減しながら整備を進める考えは。 (3) 猛暑の中で災害が発生した場合、高齢者や乳幼児を含む避難者が安心して過ごせる環境と考えているか。 (4) 地域防災力の維持強化に向けた今後の対策は。
2. 学校プール開放の充実について		2. 近年の猛暑により、全国で学校プールの開放中止や時間短縮が相次いでいる。本町では、熱中症警戒アラートなどを踏まえながら、安全確保を最優先に運営した対応は高く評価している。そのうえで、より充実した事業とするために質問する。 (1) 本年度の利用人数、中止日数、熱中症等の事故の有無、また、保護者や利用者からの意見は。 (2) 専門インストラクターを招いて着衣水泳教室や水難事故防止教室を開催する考えは。 (3) 猛暑の影響が続く中、今後も学校プール開放を継続していく考えは。

質問者	通告 6 番	通告時間 5 0 分
	1 2 番 清水 亜樹 議員	答弁者 町長・教育長
質問事項		要 旨
1. 「ひょうたんの町おおい」を活かしたまちづくりに ついて 2. 「ともに生きる社会かながわ憲章」の普及啓発に ついて		1. 本町では長年「ひょうたんの町」として、ひょうた んを活かしたまちづくりに取り組んできた。後期基 本計画でも、更なる魅力発信や観光事業の推進が掲 げられている。そこで以下を伺う。 (1) 「ひょうたんの町おおい」を今後どのように観光 や地域振興につなげていくのか。 (2) 大井よさこいひょうたん祭についてどのような 課題を認識しているのか。 (3) 学校や地域の団体などと連携し、ひょうたんの文 化や栽培・加工など子ども達が学ぶ機会は次世 代への継承にもつながり重要であると考えてる が、取り組みの状況は。 2. 「ともに生きる社会かながわ憲章」は、障がいの有 無にかかわらず誰もが互いを尊重し、支え合う社会 の実現をめざすものである。その理念を地域に根付 かせるには、継続的な普及啓発と福祉などの施策へ の展開が重要と考える。そこで以下を伺う。 (1) 「ともに生きる社会かながわ憲章」について、こ れまでの普及啓発の取り組み状況は。また町民 の認知度をどのように捉えているのか。 (2) 憲章では「県民総ぐるみで取り組む」ことが掲げ られているが、今後の普及啓発と施策への展開 は。 (3) 小中学校において憲章の理念や障がいへの理解 を深める教育の状況は。

質問者	通告 7 番	通告時間 60 分
	11 番 牧野 一仁 議員	答弁者 町長・教育長
質問事項		要 旨
1. 中学校教育の方針について		1. 「子どもは学校・家庭・地域が一体となって育てる」と言われている。少子化や地域社会の変化により、学校と地域のつながりは希薄化していると感じる。一方、地域には豊かな経験や知識を持つ方々がおられ、学校教育に生かせる大きな力がある。そこで、地域と学校がどのような関係を築き、地域社会全体で子どもを育てる教育をどのように進めていくのか、教育長の考えを伺う。 また近年、私立中学校を希望する家庭が増えている。その背景には、学力や進路に対する保護者の期待と不安もあると考える。公立中学校が地域から信頼されるためには、子どもたちに確かな学力を身に付けさせ、希望する進路の実現を支えることが重要である。 そこで以下について伺う。 (1) 今後の中学校教育をどのように考えているか。 (2) 学校・家庭・地域の連携を深めるため、地域との関りをどの様に進めるのか。また、最も重視する施策は何か。 (3) 学力向上と学力保証について、どのような方針で取り組むのか。
2. 学校体育館空調の進捗状況について		2. 昨年第 3 回定例会で質問した、災害時避難所となる学校体育館空調の進捗状況は。

質問者	通告 8 番	通告時間 4 5 分
	3 番 鈴木 武夫 議員	答弁者 町長・教育長
質問事項		要 旨
1. 教育長に町の学校教育の方針について問う	1. 令和 8 年 4 月に前任の教育長の時に、大井町教育振興基本計画が策定された。その後、今年の 7 月に教育長が 1 0 数年ぶりに変わった。しかし現代の社会は変化が速い。 そこで教育長に町の学校教育について新しい視点での教育方針があるのか伺う。 (1) 学校教育を推進するにあたり、教育長の重点方針は何か。また、今までとは違う教育方針はあるのか。 (2) 主要施策の中に幼稚園・小・中学校の一貫した教育を推進するとある。しかし、近隣では小・中一貫校への流れになっているが教育長の考えは。 (3) 町の英語教育は遅れていると思うが教育長の考えは。	
2. 町の指定管理者制度について	2. 町は 2 カ所で指定管理者制度を実施している。そこで以下の点について伺う。 (1) 町内の自治会館は町所有である。現状は地元自治会が管理している。しかし自治会館の管理は町と自治会とで指定管理者制度を結ぶべきだ。町の考えは。 (2) 町の公園も指定管理者制度を導入すべきだ。町の考えは。 (3) 山田総合グラウンドは、前回の指定管理者の募集・選定の際、教育委員会の点検・評価で「次年度からの指定管理料の削減を図ることができた」と評価した。今回の募集・選定では教育委員会はどのように評価しているのか。	